

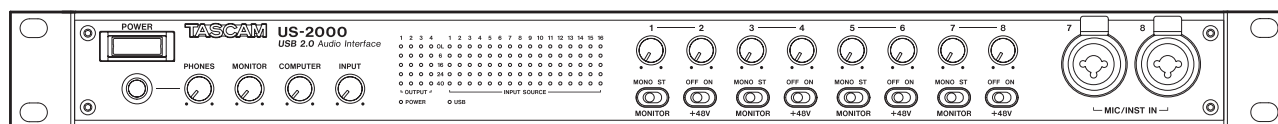
TASCAM
TEAC PROFESSIONAL

D01088601B

US-2000

USB 2.0 Audio Interface



取扱説明書






安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。




表示の意味

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。




絵表示の例

	△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。






警告

	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。
	万一機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	万一、この機器を落とししたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店またはティアック修理センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器を使用できるのは、日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には、接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

	電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
	この機器のカバーは、絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は、販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。
	この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の上に花瓶や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合は、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

	移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
	オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
	電源を入れる前には、音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器は、コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。
	この機器には、付属の電源コードセットをご使用下さい。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。
	ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。
	次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所 ・ 湿気やほこりの多い場所 ・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所
	電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	付属の電源コードセットを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。
	5年に一度くらいは、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。
	 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

目次

安全にお使いいただくために	2	第6章 アプリケーションガイド	15
第1章 はじめに	5	Windows XP と Windows Media Player	15
本機の特長	5	Windows Vista と Windows Media Player	15
本製品の構成	5	Mac OS X と iTunes	16
本書の表記	5	Cubase LE 5	16
商標に関して	6	第7章 トラブルシューティング	17
設置上の注意	6	第8章 仕様	19
結露について	6	入出力定格	19
製品のお手入れ	6	アナログオーディオ入出力定格	19
アフターサービス	6	デジタルオーディオ入出力定格	19
第2章 各部の名称と働き	7	コントロール入出力定格	19
フロントパネル	7	オーディオ性能	19
リアパネル	8	動作条件	19
第3章 インストール	9	Windows	19
必要なシステム	9	Mac OS X	20
Windows	9	一般	20
Mac OS X	9	寸法図	20
ドライバのインストール	9	ブロックダイアグラム	21
Windows用ドライバのインストール	9	レベルダイアグラム	22
MacOS X用ドライバのインストール	11		
ドライバのアンインストール	11		
インストールについてよくある質問と回答 (FAQ)	11		
パソコンの設定	11		
Cubase LE 5のインストール	11		
第4章 US-2000コントロールパネルの設定	12		
概要	12		
コントロールパネルの設定	12		
Audio Performance	12		
Sample Clock	12		
Digital Output Format	12		
Digital Output Channels	12		
第5章 接続	13		
USBの接続	14		
オーディオの接続	14		
マイク	14		
ギター	14		
キーボード／ドラムマシン／音源モジュール／ カセットデッキ／MD／CDなど（アナログ接続）	14		
音源モジュール／MD／CDなど（デジタル接続）	14		
モニタースピーカー	14		
ヘッドホン	14		

このたびは、TASCAM USB2.0 Audio Interface US-2000をお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト (<http://www.tascam.jp/>) からダウンロードすることができます。

本機の特長

- 16入力、4出力のオーディオインターフェース
- 24ビット／96kHz対応
- 6系統のXLRバランスマイク入力、2系統のXLR／TRSコンボジャックバランス入力、6系統のバランスライン入力
- S/PDIFデジタル入力
- +48Vファントム電源供給可能（8マイク入力）
- 入力1-14の各ペアチャンネルは、ステレオモニターまたはモノラルモニターの選択が可能
- 4系統のバランスライン出力、バランスモニター出力、デジタル出力、およびヘッドホン出力
- S/PDIFまたはAES/EBUの選択可能なデジタル出力
- 各入出力に、5ドットのインプットおよびアウトプットメーター
- ダイレクトモニター機能により遅延がない入力モニターが可能。
- モニターレベルコントロールに加え、USB経由のパソコンからの入力信号と、本機の入力端子からの入力信号を独立してレベルコントロール可能
- 入力7-8には、インサート端子を用意
- オーディオプロトコルとしてASIOとWDMを同時に使用可能なマルチクライアント対応
- USB2.0 High speed（480MHz）対応
- Cubase LE 5 バンドル

パソコン操作に関して

本書の説明に出てくるパソコンの基本操作について不明な点がある場合は、お使いのパソコンの取扱説明書をご参照ください。

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

● 本体	x1
● 電源コード	x1
● USBケーブル	x1
● CD-ROM（ドライバー、取扱説明書などを含む）	x1
● DVD-ROM（Cubase LE 5）	x1
● Cubase LE 5クイックスタートガイド	x1
● ラックマウントビスキット	x1
● 保証書	x1
● 取扱説明書（本書）	x1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のキー／端子などを「**MONO**スイッチ」のように太字で表記します。
- パソコンのディスプレイに表示される文字を《**OK**》のように《 》で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

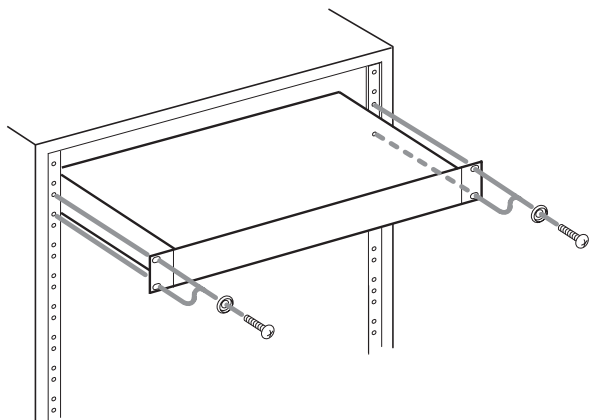
指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標に関して

- TASCAMは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Microsoft, Windows, および Windows Vistaは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple, Macintosh, Mac OS および MacOS X は、Apple Inc. の商標です。
- Pentium および Intel は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- AMD Athlon は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- Cubase は Steinberg Media Technologies GmbH の登録商標です。
- ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH. の商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

設置上の注意

- 本製品の動作保証温度は、摂氏5度～35度です。
- 本製品は、水平に設置してください。
- 放熱を良くするために、本製品の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本製品を置かないでください。
- 本製品をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスを使って、下図のように取り付けてください。
なお、ラック内部では、本製品の上に1U以上（5cm以上）のスペースを開けてください。



結露について

本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

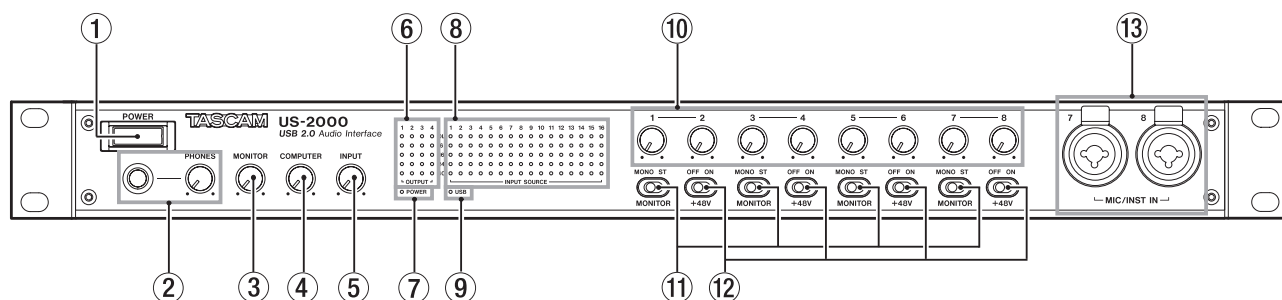
製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を痛めたり色落ちさせる原因となります。

アフターサービス

- この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししていますので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはティアック修理センターまでご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
本機を使ったシステム内のハードディスク、MOディスクなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。
 - 型名、型番（US-2000）
 - 製造番号（Serial No.）
 - 故障の症状（できるだけ詳しく）
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください

フロントパネル



① POWERスイッチ

電源をオン／オフします。

② PHONESジャック／つまみ

ステレオヘッドホンを接続するためのステレオ標準ジャックです。ミニプラグのヘッドホンを接続する場合は、変換アダプターをご使用ください。

PHONESつまみでヘッドホン出力レベルを調節します。

注意

ヘッドホンを接続する前には、**PHONES**つまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

③ MONITORつまみ

MONITOR OUTPUT L/Rの出力レベルを調節します。

④ COMPUTERつまみ

USB経由で入力されたパソコンの出力信号を、**MONITOR OUTPUT**端子および**PHONES**端子に出力するレベルを調節します。

⑤ INPUTつまみ

本機の入力信号（**MIC IN**端子、**LINE IN**端子、**DIGITAL IN**端子からの入力）を、**MONITOR OUTPUT**端子および**PHONES**端子に出力するレベルを調節します。

⑥ OUTPUTメーター

出力レベルを表示します。本機の出力は4系統あります。

⑦ POWERインジケーター

電源がオンのときに、点灯します。

⑧ INPUT SOURCEメーター

入力レベルを表示します。本機の入力は16系統あります。

⑨ USBインジケーター

USB接続が有効なときに、点灯します。

⑩ ゲインつまみ

マイク入力1-8の入力レベルを、個別に調節します。

左いっぱいに戻すと最小レベル、右いっぱいに戻すと最大レベルになります。

⑪ MONITORスイッチ

入力1-2、3-4、5-6、7-8を、モノラルでモニターするか、奇数入力チャンネル（1、3、5、7）はLチャンネル（左）、偶数入力チャンネル（2、4、6、8）はRチャンネル（右）というように、ステレオでモニターするかを、個別に設定します。

⑫ +48Vスイッチ

マイク入力端子1-2、3-4、5-6、7-8に+48Vのファントム電源を供給するためのスイッチです。

注意

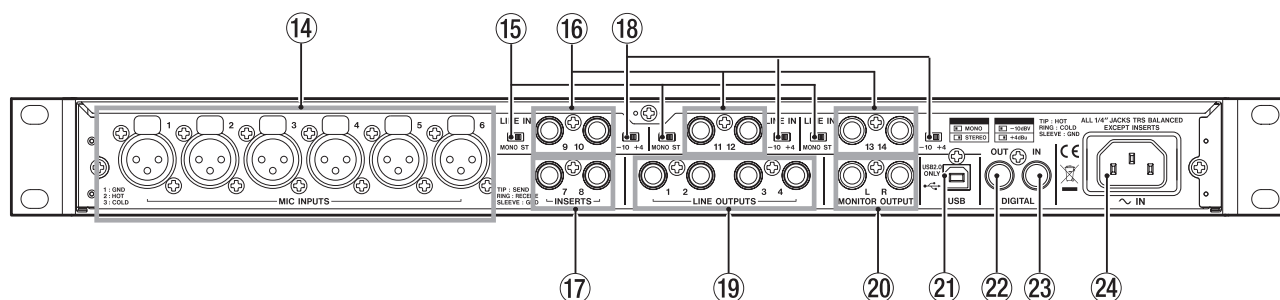
- このスイッチの**ON**または**OFF**は、機器の出力音量を**PHONES**および**MONITOR**つまみで下げた状態で行ってください。マイクによっては大きなノイズを発生し、他の機器または人体を損傷する恐れがあります。
- このスイッチを**ON**にした状態でマイクの抜き差しをしないでください。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、スイッチを**ON**にしてください。
- アンバランスタイプのダイナミックマイクロホンにファントム電源を供給しないでください。
- リボンマイクロホンの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクロホンにファントム電源を供給しないでください。

⑬ MIC/INST IN [BALANCED] 端子

XLRと標準ジャックのコンボタイプのアナログマイク／インストゥルメント入力端子です。XLR端子にはマイク（バランス）を接続し、標準ジャック（アンバランス）にはエレキギター／ベースなどを接続します。

XLR（1：GND、2：HOT、3：COLD）

リアパネル



⑭ MIC INPUTS [BALANCED] 端子

XLRタイプのアナログマイク入力端子（バランス）です。マイクを接続します。

（1：GND、2：HOT、3：COLD）

⑮ MONO/STスイッチ

入力9-10、11-12、13-14を、モノラルでモニターするか、奇数入力チャンネル（9、11、13）はLチャンネル（左）、偶数入力チャンネル（10、12、14）はRチャンネル（右）というように、ステレオでモニターするかを、個別に設定します。

⑯ LINE IN [BALANCED] 端子

TRS標準ジャックのライン入力端子（バランス）です。キーボードや音源などを接続します。

（Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）

⑰ INSERTS [UNBALANCED] 端子

フロントパネルのMIC/INST IN（入力7-8）用のアナログインサート端子（アンバランス）です。外部エフェクター（コンプレッサーやゲートなど）を接続することができます。

（Tip：SEND、Ring：RECEIVE、Sleeve：GND）

⑱ レベル切り換えスイッチ

ライン入力端子の規定入力レベル－10（dBV）にするか、+4（dBu）にするかを切り換えます。

⑲ LINE OUTPUTS [BALANCED] 端子

TRS標準ジャックのアナログライン出力端子（バランス）です。この端子からは、USB経由で入力されたパソコンの出力信号を出力します。どの信号を出力するかは、パソコン側のオーディオアプリケーションで設定します。外部ミキサーやレコーダーなどを接続します。

（Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）

⑳ MONITOR OUTPUT [BALANCED] 端子

TRS標準ジャックのアナログモニター出力端子（バランス）です。モニタースピーカーなどを接続します。

（Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND）

㉑ USB端子

付属のUSBケーブルを使ってパソコンと接続します。

㉒ DIGITAL OUT [COAXIAL] 端子

IEC60958-3（S/PDIF）、またはAES3-2003（AES/EBU）に準拠したCOAXIALデジタル出力端子です。

LINE OUTPUTS 1/2、またはLINE OUTPUTS 3/4と同じ信号をデジタル出力します（コントロールパネルで設定）。デジタル信号フォーマットは、コントロールパネル上で選択します。

㉓ DIGITAL IN [COAXIAL] 端子

IEC60958-3（S/PDIF）に準拠したCOAXIALデジタル入力端子です。

メモ

本機のDIGITAL IN/OUT端子は、24ビット／96kHzの入出力に対応しています。

㉔ AC IN コネクター

付属の電源コードを接続します。

必要なシステム

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト (<http://www.tascam.jp/>) で確認ください。

Windows

● 対応OS：

Windows XP 32ビット SP2以上
Windows XP 64ビット SP2以上
Windows Vista 32ビット SP2以上
Windows Vista 64ビット SP2以上

● 対応パソコン：

USB2.0ポートを装備したWindows対応パソコン

● CPU / クロック：

Pentium4 1.4GHz以上
AMD Athlon 1.4GHz以上（または同等のプロセッサ）

● メモリー：

Windows XP 32ビット / Vista 32ビット：512MB以上
Windows XP 64ビット / Vista 64ビット：1GB以上

注意

本機の動作確認は、上記のシステム条件を満たす標準的なパソコンを使って行われていますが、上記条件を満たすパソコンすべての場合の動作を保証するものではありません。同一条件下であっても、パソコン固有の設計仕様や使用環境の違いにより処理能力が異なります。

Mac OS X

● 対応OS：

Mac OS X 10.4.11以上
Mac OS X 10.5.6以上

● 対応パソコン：

USB端子を標準で装備している Apple Macintoshシリーズ

● CPU / クロック：

Power PC G4 1GHz以上、または Intelプロセッサ

● メモリー：

512MB以上

ドライバーのインストール

本機を使用するには、パソコンにドライバーをインストールする必要があります。以下に述べるように、本機に付属のドライバー CD-ROMを使って簡単にインストールすることができます。

ドライバーは、随時更新されています。最新のドライバーは、TASCAMのウェブサイト (<http://www.tascam.jp/>) からダウンロードすることができます。

なお、ドライバーをインストールするときは、本機の接続を外してから始めてください。

注意

- 付属のドライバー CD-ROMの取り扱いには、充分ご注意ください。ディスクに傷や汚れがあると正しくデータを読み出せないためにインストールできない場合があります。
なお、付属のドライバー CD-ROMが破損した場合は、有償にて交換できます。
- 付属のドライバー CD-ROMを一般のオーディオCDプレーヤーでは、絶対に再生しないでください。ノイズによってスピーカーを破損したり聴力障害が起きることがあります。

Windows用ドライバーのインストール

注意

- ドライバーのインストール中に、《Windowsロゴテストに合格していません...》という警告が表示されます。この警告は、Windows のロゴテストを受けていないドライバーをインストールするときに表示されるメッセージです。弊社製品のドライバーは、Windows のロゴテストを受けていないためにこのメッセージが表示されますが、本ドライバーは弊社で動作確認済みです。このメッセージが表示されたときは、《続行》をクリックしてインストールを続けてください。
- ドライバーのインストールでは、以下の手順7.、8.および9.で、USBケーブルの抜き差しが必要です。
このとき、画面が表示されてから約1分以内に指示された作業を完了させてください。
時間内に指示された作業が完了しなかった場合は、インストールが失敗することがあります。

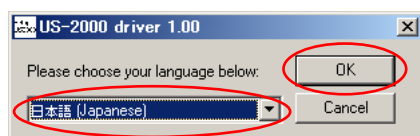
ドライバーのインストール

1. 本機とパソコンがUSBケーブルで接続されていないことを確認します。
2. 付属のドライバー CD-ROMをご使用のパソコンにセットします。
3. メニュー画面が表示されたら、《Install Driver》ボタンをクリックしてください。
メニュー画面が表示されない場合は、付属のドライバー CD-ROM内のファイルを参照して《Autorun》フォルダ内の《Autorun2.exe》ファイルを実行してください。

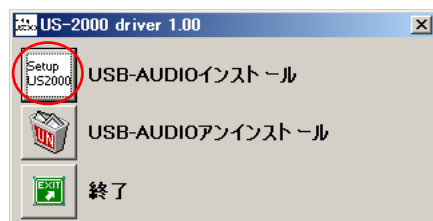


第3章 インストール

4. しばらくすると言語選択の画面が表示されますので、希望の言語を選択し《OK》ボタンをクリックします。
(以降は、日本語を選択した場合の画面およびボタン名による説明になります。)



5. 次の画面が表示されたら、《USB-AUDIOインストール》ボタンをクリックします。



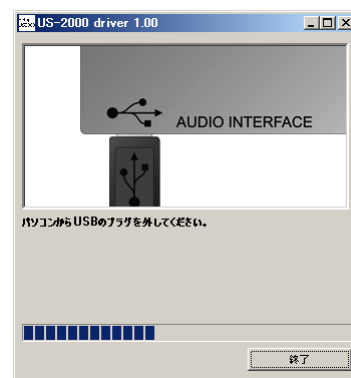
6. 使用ライセンス許諾契約書の内容を確認し、《使用許諾契約の条項に同意します》を選択します。次に《インストール》ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



7. 次の画面が表示されたら、付属のUSBケーブルを使って本機とパソコンを接続します。



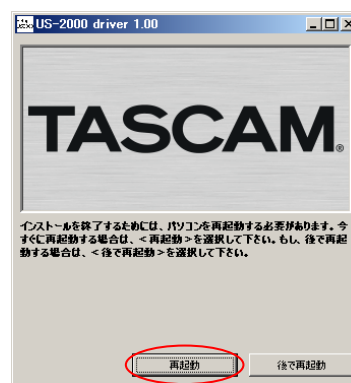
8. 次の画面が表示されたら、接続したUSBケーブルを本機またはパソコンからいったん外します。



9. 次の画面が表示されたら、再度、USBケーブルを使って本機とパソコンを接続します。



10. 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。
《再起動》ボタンをクリックして、インストーラーを終了し、パソコンを再起動します。



11. パソコンが起動したら、《スタート》→《コントロールパネル》にある《TASCAM US-2000》、もしくは《スタート》→《すべてのプログラム》→《TASCAM》→《US-2000 Control Panel》をクリックして《US-2000 Control Panel》を起動します。Driver Version、Device等の情報が正しく表示されていれば、インストールは成功です。



Mac OS X 用ドライバーのインストール

1. 本体がパソコンに接続されていないことを確認します。
2. 付属のドライバー CD-ROM内の《TASCAM_US2000_Driver_x.xx.dmg》をダブルクリックします。デスクトップ上に《TASCAM_US2000_Driver_x.xx》ができ、このフォルダを開きます。
3. フォルダ内の《TASCAM_US-2000_x.xx.mpkg》をダブルクリックして、インストーラーを起動します。
4. 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。
5. パソコンを再起動後、本機を接続します。

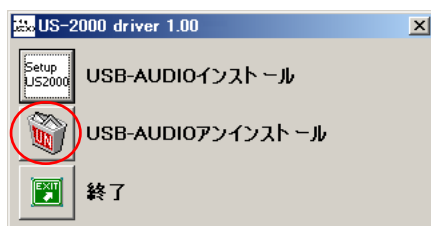
ドライバーのアンインストール

● Windows

ドライバーをアンインストールするには、以下の2通りの方法があります。

付属のドライバー CD-ROMを使う方法

1. 第3章「ドライバーのインストール」(9ページ)の4.まで同じです。
2. 5.で《USB-AUDIOアンインストール》ボタンをクリックします。



3. 以降は、スクリーンの指示に従ってください。

Windows の《プログラムの追加と削除》

1. 《スタート》→《コントロールパネル》で、《プログラムの追加と削除》を実行します。
2. 一覧の中から、《US-2000 driver》を選択し、《変更と削除》ボタンをクリックします。
3. 以降は、スクリーンの指示に従ってください。

● Mac OS X

1. 付属のドライバー CD-ROMを挿入し、ドライバー CD-ROM内のファイルを参照して、《TASCAM US-2000 Remover》をダブルクリックします。



TASCAM US-2000 remover

2. 以降は、スクリーンの指示に従ってください。

インストールについてよくある質問と回答 (FAQ)

Windows 用ドライバー のインストール

Q：本機をパソコンに接続すると、新しいハードウェアの検出ウィザードが表示され、ドライバーのインストールができません。インストール方法が間違っているのでしょうか？

A：《ハードウェアの追加ウィザード》を閉じ、本機の接続を外してください。本機を接続する前に、あらかじめドライバーをインストールする必要があります。製品に同梱されたドライバー CD-ROMを挿入すると、ドライバーをインストールするためのメニューが自動的に表示されます。

《Install Driver》を選択して、スクリーンの上の指示に従ってください。TASCAMのウェブサイト (<http://www.tascam.jp/>) からドライバーをダウンロードした場合は、ZIPアーカイブを解凍して《setup.exe》を実行し、スクリーンの指示に従ってください。

Q：付属のドライバー CD-ROMをWindows パソコンに挿入しましたが、ドライバー・インストール・メニューが表示されません。どうすればメニューを始めることができますか？

A：ディスクドライブの自動再生の設定がパソコンで無効にされていた可能性があります。Windows Explorerで同梱されている付属のドライバー用CD-ROMを開いて、《Autorun2.exe》というファイルをダブルクリックすることによって、手動でインストールメニューを始めることができます。

パソコンの設定

本取扱説明書では、基本的なポイントのみを以下に述べます。

- 他のアプリケーションを立ち上げないようにしましょう。本機を接続しているパソコンをオーディオ以外の用途に使用することもあると思いますが、オーディオアプリケーションを使用しているときには、他のアプリケーションを立ち上げないようにしてください。デジタルオーディオの処理は、パソコンにかなりの負担をかけます。したがって、他のアプリケーション（特にグラフィックやインターネットツール）を動作することによって処理が追いつかなくなる可能性があります。

Cubase LE 5のインストール

詳しくは、付属のCubase LE 5クイックスタートガイドを参照ください。

第4章 US-2000 コントロールパネルの設定

概要

コントロールパネルでは、本機の機能の設定を行うことができます。Windows では、《US-2000 Control Panel》ショートカットが《スタート》→《コントロールパネル》、または《スタート》→《すべてのプログラム》→《TASCAM》からアクセスできます。

Mac OS X では、《US-2000 Control Panel》はアプリケーションフォルダにあります。その他、Mac OS X でオーディオの設定に必要な《Audio MIDI 設定》はアプリケーション/ユーティリティのフォルダにあります。



[Windows のコントロールパネル]



[Mac OS X のコントロールパネル]

コントロールパネルの設定

Audio Performance

本機のドライバーは、オーディオ入出力信号を一時的にバッファーに蓄えています。このバッファーサイズは調整が可能です。バッファーサイズが小さいほど、入力信号モニター時のオーディオ信号の遅れが少なくなりますが、パソコンの高速処理が要求されます。他のシステム操作を行った場合などに処理が間に合わないと、オーディオ信号にクリックノイズ、ポップノイズ、ドロップアウトなどが発生する場合があります。

バッファーサイズを大きくするほど動作がより安定し、他のシステム操作のオーディオ信号への悪影響に対して強くなりますが、モニター時のオーディオ信号の遅れが大きくなります。本機では、ユーザー環境に合わせてバッファーサイズを設定することができます。Windows では、コントロールパネルの《Audio Performance》でバッファーサイズの調整を行います。《lowest latency》ではバッファーサイズが最も小さく、《highest latency》では最も大きくなります。

Mac OS X では、バッファーサイズは使用する各オーディオアプリケーションにて設定します。ですので、Mac OS X バージョンのコントロールパネルには《Audio Performance》がありません。詳しくは、お使いになるオーディオアプリケーションの取扱説明書等をご参照ください。

Sample Clock

クロックソースを《Automatic》または《Internal》に設定します。

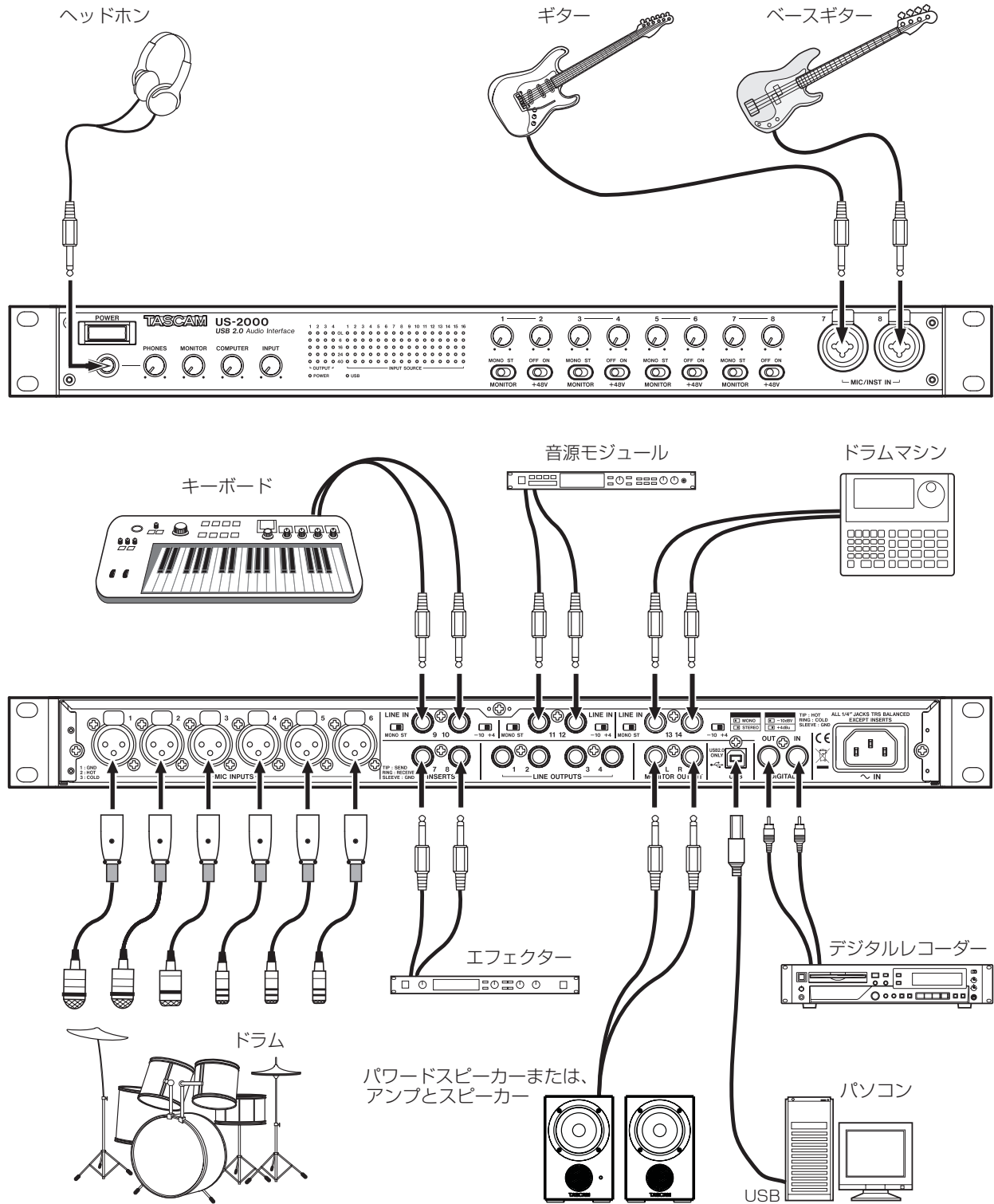
- Automatic (初期値) : DIGITAL IN端子に信号が入力されているときは、そのクロックを使用します。DIGITAL IN端子に信号が入力されていないときは、本機の内部クロックを使用します。
- Internal : 常に本機の内部クロックを使用します。

Digital Output Format

デジタル入力を使用する場合は、《Automatic》に設定してください。デジタル出力のフォーマットを《AES/EBU》または《S/PDIF》に設定します。

Digital Output Channels

DIGITAL OUT端子からは、LINE OUTPUTS 1/2、または3/4の信号をデジタル出力することができます。この項目でどちらのペア信号を出力するかを選択します。



USBの接続

付属のUSBケーブルを使って、図のように本機とパソコンを接続してください。

注意

USB機器の中には、USBバスを頻繁に使用するものがあります。オーディオ信号のドロップアウト、クリックノイズなどを避けるために、本機が接続されているパソコンにはマウス、キーボード以外のUSB機器を接続しないことを強くお勧めします。

オーディオの接続

マイク、ギター、キーボード、オーディオ機器などの出力信号を本機に入力し、本機でデジタル信号に変換し、USBを経由してパソコンに送ります。また、スピーカー（アンプ経由）やヘッドホンを本機に接続することにより、本機に入力されるオーディオ信号やパソコンからの出力信号をモニターすることができます。マイク、ギターなどの入力信号と、パソコンからの出力信号のバランスは、**INPUT**つまみ、および**COMPUTER**つまみで調節します。

マイク

マイクは、リアパネルの**MIC INPUTS (1-6)** 端子、およびフロントパネルの**MIC/INST IN (7-8)** の**XLR**端子に入力します。ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクをご使用になる場合は、フロントパネルの**+48V**スイッチを**ON**にします。

注意

- **+48V**スイッチを**ON**にした状態でダイナミックマイクをアンバランス接続すると機器が故障する恐れがあります。
- **+48V**スイッチを**ON**にした状態で、マイクの抜き差しをしないでください。大きなノイズを発生し、機器が故障する恐れがあります。
- **+48V**スイッチの**ON**または**OFF**は、機器の出力音量を、フロントパネルの**PHONES**つまみ、**MONITOR**つまみを下げた状態で行ってください。マイクによっては大きなノイズを発生し、他の機器または人体を損傷する恐れがあります。

ギター

ギターやベースギターを直接本機に接続する場合は、フロントパネルの**MIC/INST IN (7-8)** の標準ジャック端子に接続します。

キーボード／ドラムマシン／音源モジュール／カセットデッキ／MD／CDなど（アナログ接続）

これらの機器のアナログ信号出力は、リアパネルの**LINE IN**端子**9-14**（TRS標準ジャック）に接続します。

音源モジュール／MD／CDなど（デジタル接続）

これらの機器のデジタル入出力は、リアパネルの**DIGITAL IN/OUT**端子に接続します。

メモ

- 本機のデジタル入力端子は、RCAピンジャックです。
- 本機のデジタル出力は、S/PDIFまたはAES/EBU信号を出力することができます。出力設定は、コントロールパネルで設定します。

モニタースピーカー

モニタースピーカー（パワードスピーカーまたは、アンプとスピーカー）は、リアパネルの**MONITOR OUTPUT**端子に接続します。

ヘッドホン

ヘッドホンは、フロントパネルの**PHONES**端子（ステレオ標準ジャック）に接続します。

第6章 アプリケーションガイド

ここでは、いくつかのオーディオアプリケーションと組み合わせて使用する場合の各設定方法を紹介します。

Windows XP と Windows Media Player

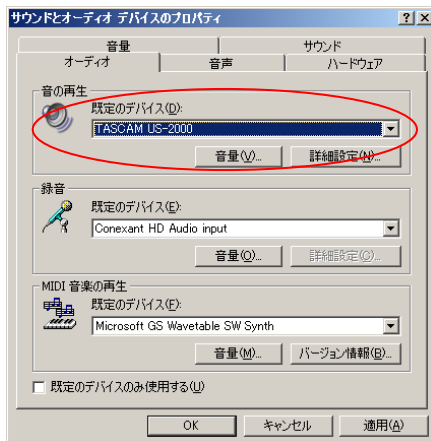
1. すべてのアプリケーションを終了し、《スタートメニュー》より《コントロールパネル》を開きます。
2. 《サウンドとオーディオデバイス》を開きます。

メモ

上記項目が見あたらない場合は、《サウンド、音声、およびオーディオデバイス》をクリックした後に表示されます。



3. 《オーディオ》タブをクリックし、《音の再生》の《既定のデバイス》で、《TASCAM US-2000》を選択します。



4. 《OK》をクリックします。
5. Windows Media Playerを起動し、オーディオファイルを選択して再生を行ってください。

メモ

- Windows Media Playerを起動した状態で設定を行った場合は、Windows Media Player側でデバイスの切り換えが認識されません。この場合は、Windows Media Playerを再起動してください。
- 上記設定／操作を正しく行ったが、音が出ない場合は、パソコンを再起動してください。
- この設定を行うと、本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子から、音は出なくなります。

Windows Vista と Windows Media Player

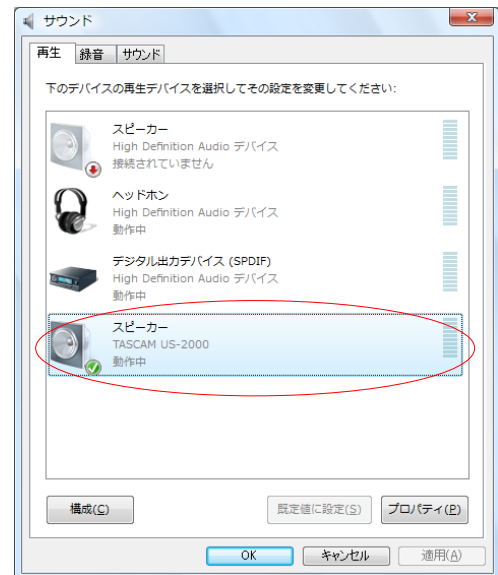
1. すべてのアプリケーションを終了し、《スタートメニュー》より《コントロールパネル》を開きます。
2. 《サウンド》を開きます。

メモ

上記項目が見あたらない場合は、《ハードウェアとサウンド》をクリックした後に表示されます。



3. 《再生》タブをクリックし、《スピーカー TASCAM US-2000》をクリックし、《既定のデバイスとして設定》をクリックします。このとき、緑のチェックマークが《スピーカー TASCAM US-2000》に移動します。



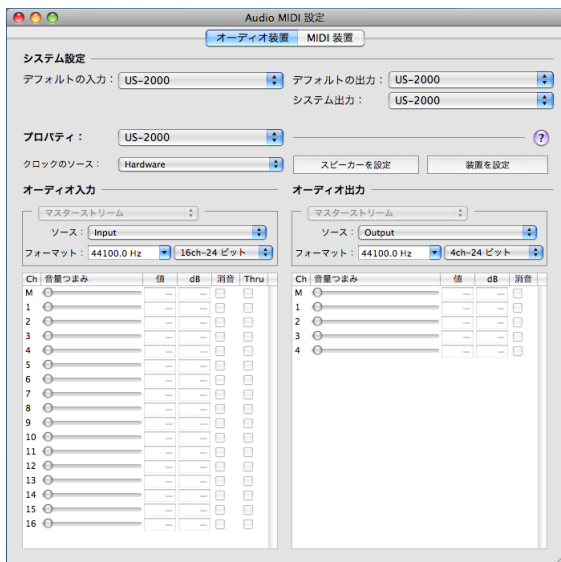
4. 《OK》をクリックします。
5. Windows Media Playerを起動し、オーディオファイルを選択して再生を行ってください。

メモ

- Windows Media Playerを起動した状態で設定を行った場合は、Windows Media Player側でデバイスの切り換えが認識されません。この場合は、Windows Media Playerを再起動してください。
- 上記設定／操作を正しく行ったが、音が出ない場合は、パソコンを再起動してください。
- この設定を行うと、本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子から、音は出なくなります。

Mac OS X と iTunes

1. 《アプリケーション》フォルダの中の《ユーティリティ》フォルダの中にある《Audio MIDI設定》をダブルクリックして起動します。
2. 《オーディオ装置》タブをクリックします。
《デフォルトの入力》、《プロパティ》、《デフォルトの出力》、《システム出力》を《US-2000》に設定してください。



3. iTunesを起動し、オーディオファイルを選択して再生を行ってください。

Cubase LE 5

詳しくは、付属のCubase LE 5クイックスタートガイドをご参照ください。

第7章 トラブルシューティング

本取扱説明書の手順通り設定しても、本機が正常に使用できない場合は、まずは本章をご確認ください。

本章で解決できない場合は、タスカムカスタマーサポートまで、下記のご使用環境と、詳しい状況をお知らせいただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。

ご使用環境

- PCメーカー：
- モデル：
- CPU：
- 搭載メモリ：
- OS：
- 使用アプリケーション：
- ウイルス対策ソフトの有無：
- 無線LANの有無：

● インストールできない。

インストールしたがPCに認識されない。



何らかの問題が発生し、インストールに失敗する、またはインストールは完了したがパソコンに認識されない場合は、下記をご確認ください。

- 1) 本機のUSBインジケータは、点灯しておりますでしょうか。
USBインジケータが点灯していない場合は、正しくUSBケーブルが接続されているかご確認ください。

メモ

必ず付属のUSBケーブルをご使用ください。

- 2) USBポートの差し換え

USBポートによっては、本機が正常に動作しないものもございますので、別のUSBポート（オンボードの）に接続して再度インストールをお試しください。

メモ

- その他のUSB機器は、接続せずにお試しください（キーボード・マウスは、接続しても構いません。）。
- USBハブはご使用にならず、必ずパソコン本体の（オンボードの）USBポートに接続してください。

- 3) 常駐ソフトの停止

アンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがインストールの妨げとなる場合がございますので、インストール前に終了してください。

ドライバーのアンインストール／インストール方法は、本マニュアルの11ページをご参照ください。

● オーディオを再生しても音が鳴らない。



パソコン側で音声出力の設定が必要です。本機をパソコンに接続した状態で下記をご確認ください。

なお、以下の設定を行うと、本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子から、音は出なくなります。

Windows XP

1. すべてのアプリケーションを終了し、《スタートメニュー》より、《コントロールパネル》を開きます。
2. 《サウンドとオーディオデバイス》を開きます。

メモ

上記項目が見あたらない場合は、《サウンド、音声、およびオーディオデバイス》をクリックした後に表示されます。

3. 《オーディオ》タブをクリックし、《音の再生》および《録音》の《規定のデバイス》をクリックし、《TASCAM US-2000》を選択します。

第7章 トラブルシューティング

Windows Vista

1. すべてのアプリケーションを終了し、《スタートメニュー》より、《コントロールパネル》を開きます。
2. 《サウンド》を開きます。

メモ

上記項目が見あたらない場合は、《ハードウェアとサウンド》をクリックした後に表示されます。

3. 《再生》タブをクリックし、《スピーカー US-2000》を右クリックし、《規定のデバイスとして設定》をクリックします。

Mac OS X

1. すべてのアプリケーションを終了し、《アップルメニュー》より《システム環境設定...》画面を開きます。
2. 《サウンド》を開きます。
3. 《出力》タブから《US-2000 output》を選択します。

設定が完了しましたら、パソコンを再起動し、再生音をご確認ください。

また、お使いのアプリケーションによっては、上記とは別にデバイス設定を行う必要があるものがございます。

特にDAWは、上記OSの設定とは別のオーディオエンジンで動作していますので、本機のドライバーをインストール後、まずはDAWのドライバー設定をご確認ください。

お使いのアプリケーションの詳しい設定方法については、各マニュアルをご参照ください。

また、バンドルソフトのCubase LE 5については、付属のCubase LE 5 DVD-ROMに収録されている取扱説明書をご参照ください。

● 音切れやノイズが発生する。



パソコンの負荷が原因で音切れやノイズが発生します。

パソコンの負荷を軽減させる方法を下記にご紹介いたします。

- 1) 無線LANやアンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがバックグラウンドで動作している場合は、定期的な負荷がかかり、音切れやノイズの原因となります。無線LANの通信を停止、アンチウイルスソフトなどの常駐ソフトを停止してご使用ください。
- 2) お使いのオーディオアプリケーションにてバッファサイズを大きく設定することをお試しく下さい。

メモ

パソコンに負荷がかかるオーディオアプリケーションをご使用にならない場合は、本機のドライバー設定で、《Audio Performance》を《High Latency》にしてお試しく下さい。また、オーディオアプリケーション側でパソコンへの負荷を減らす方法を、オーディオアプリケーションのメーカー様にお問い合わせください。

- 3) パソコンをオーディオ処理に適した設定に変更してください。

Windows XP

1. 《マイコンピュータ》を右クリックし、《プロパティ》を選択します。
2. 《詳細設定》タブをクリックします。
3. 《パフォーマンス》枠の《設定》をクリックします。
4. 《パフォーマンスオプション》画面で、《パフォーマンスを優先する》を選択します。

Windows Vista

- a) 《Aero》(エアロ) を《OFF》に設定

1. デスクトップを右クリックし、《個人設定》を選択します。
2. 《ウィンドウの色とデザイン》をクリックし、ウィンドウ下の《詳細な色のオプションを設定するにはクラシックスタイルの[デザイン] プロパティを開きます》をクリックします。
3. 《配色》に《Windows Vista ベーシック》など《Windows Aero》以外の項目を選択します。

- b) パフォーマンス設定

1. 《コンピュータ》を右クリックし、《プロパティ》を選択します。
2. 《システムの詳細設定》をクリックします。
3. 《詳細設定》タブをクリックします。
4. 《パフォーマンス》枠の《設定》をクリックします。
5. 《パフォーマンスオプション》画面の《視覚効果》タブで、《パフォーマンスを優先する》を選択します。

Mac OS X

1. 《アップルメニュー》より《システム環境設定...》画面を開き、《省エネルギー》を選択します。
2. 《スリープ》タブをクリックします。
3. 《パソコンがスリープするまでの静止している時間》を《しない》に設定します。
4. 《ディスプレイがスリープするまでのパソコンが静止している時間》を《しない》に設定します。
5. 《オプション》タブをクリックします。
《プロセッサのパフォーマンス》を《最高》に設定します。

メモ

Mac OS X のバージョン、またはMacintoshコンピュータによっては、この設定が無い場合があります。

● Cubase LE 5のお問い合わせについて



Cubase LE 5につきましては、Steinberg社より供給された製品のため、弊社ではサポート対象外となります。

ご使用方法につきましては、Cubase LE 5のヘルプメニューをご参照いただきますようお願い致します。

入出力定格

アナログオーディオ入出力定格

MIC IN [BALANCED] 端子 (1-8)

コネクター：XLR-3-31 (1：GND、2：HOT、3：COLD)
 入力インピーダンス：2.4k Ω
 規定入力レベル（入力ゲインつまみ最大時）：-60dBu
 規定入力レベル（入力ゲインつまみ最小時）：-4dBu
 最大入力レベル（入力ゲインつまみ最小時）：+12dBu

INST IN [UNBALANCED] 端子 (7-8)

コネクター：6.3mm (1/4") 標準ジャック
 入力インピーダンス：1M Ω
 規定入力レベル（入力ゲインつまみ最大時）：-56dBu
 規定入力レベル（入力ゲインつまみ最小時）：0dBu
 最大入力レベル（入力ゲインつまみ最小時）：+16dBu

LINE IN [BALANCED] 端子 (9-14)

コネクター：6.3mm (1/4") TRS標準ジャック
 (Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND)
 入力インピーダンス：10k Ω
 規定入力レベル：-10dBV/+4dBu
 最大入力レベル：+6dBV/+20dBu

LINE OUTPUTS [BALANCED] 端子

コネクター：6.3mm (1/4") TRS標準ジャック
 (Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND)
 出力インピーダンス：100 Ω
 規定出力レベル：+4dBu
 最大出力レベル：+20dBu

MONITOR OUT [BALANCED] 端子

コネクター：6.3mm (1/4") TRS標準ジャック
 (Tip：HOT、Ring：COLD、Sleeve：GND)
 出力インピーダンス：100 Ω
 規定出力レベル：+4dBu
 最大出力レベル：+20dBu

INSERT [UNBALANCED] 端子

コネクター：6.3mm (1/4") TRS標準ジャック
 (Tip：SEND、Ring：RECEIVE、Sleeve：GND)
 出力インピーダンス：100 Ω
 規定出力レベル：-2dBu
 最大出力レベル：+14dBu
 入力インピーダンス：10k Ω
 規定入力レベル：-2dBu
 最大入力レベル：+14dBu

PHONES端子

コネクター：6.3mm (1/4") ステレオ標準ジャック
 最大出力レベル：100mW+100mW以上
 (THD+N 1%以下、32 Ω 負荷)

デジタルオーディオ入出力定格

DIGITAL IN [COAXIAL] 端子

コネクター：RCA ピンジャック
 フォーマット：IEC60958-3 (S/PDIF)

DIGITAL OUT [COAXIAL] 端子

コネクター：RCA ピンジャック
 フォーマット：IEC60958-3 (S/PDIF) または、
 AES3-2003 (AES/EBU)、コントロールパネルで切り換え

コントロール入出力定格

USB端子

コネクター：USB Bタイプ 4ピン
 フォーマット：USB2.0 HIGH SPEED (480MHz)

オーディオ性能

周波数特性

20Hz～20kHz、 ± 1.0 dB (44.1/48kHz)
 (MIC to MONITOR OUTPUT)
 20Hz～40kHz、+0.5/-2.0dB (88.2/96kHz)
 (MIC to MONITOR OUTPUT)

S/N比

90dB (LINE IN→MONITOR OUTPUT、
 20kHz LPF + A-weighted)

歪率

0.01%以下 (LINE IN→MONITOR OUTPUT、
 1kHz、+20dBu入力、20kHz LPF)

動作条件

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイト (<http://www.tascam.jp/>) で確認ください。

Windows

対応OS

Windows XP 32ビット SP2以上
 Windows XP 64ビット SP2以上
 Windows Vista 32ビット SP2以上
 Windows Vista 64ビット SP2以上

対応パソコン

USB2.0ポートを装備したWindows対応パソコン

CPU / クロック

Pentium4 1.4GHz以上
 AMD Athlon 1.4GHz以上 (または同等のプロセッサ)

メモリー

Windows XP 32ビット / Vista 32ビット：512MB以上
 Windows XP 64ビット / Vista 64ビット：1GB以上

Mac OS X

対応OS

Mac OS X 10.4.11以上
Mac OS X 10.5.6以上

対応パソコン

USB端子を標準で装備しているApple Macintosh シリーズ

CPU / クロック

Power PC G4 1GHz以上、または Intelプロセッサ

メモリー

512MB以上

一般

サンプリング周波数：44.1/48/88.2/96kHz

量子化ビット数：16/24ビット

電源：AC100～240V、50-60Hz

消費電力：14W

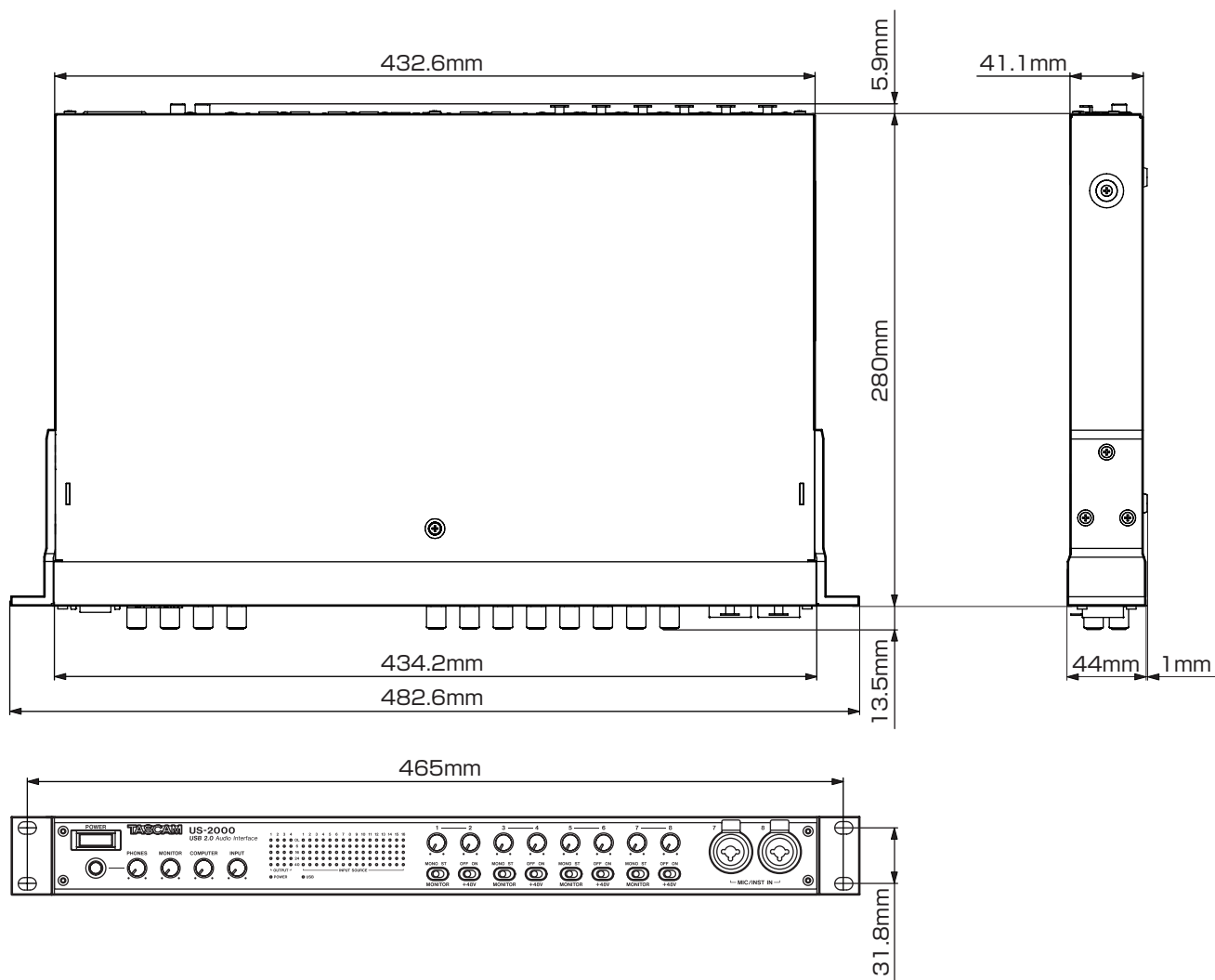
外形寸法：482.6 x 44 x 280mm（幅 x 高さ x 奥行き）

質量：2.5kg

動作温度：5～35℃

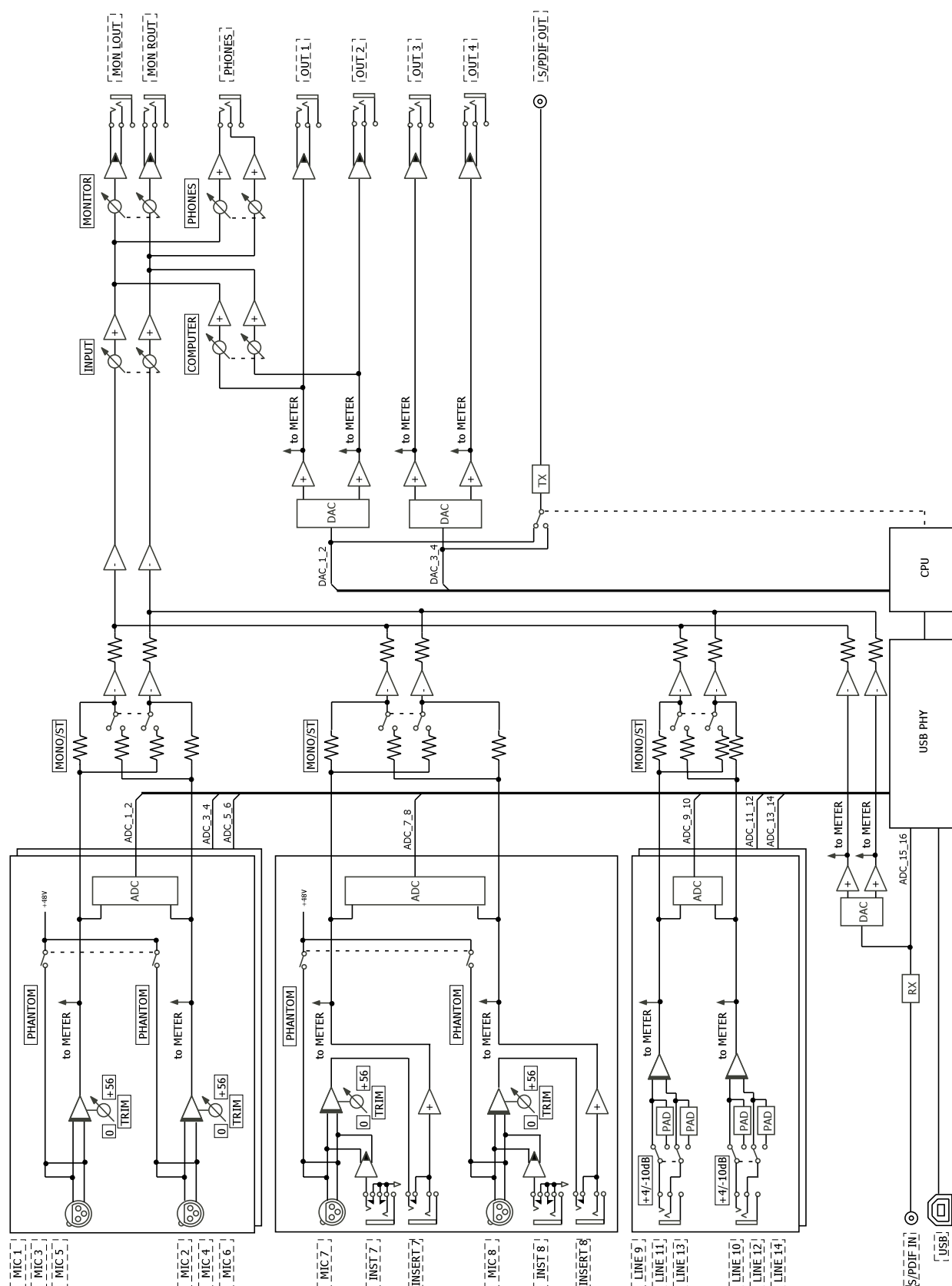
バンドルソフトウェア：Cubase LE 5
(Windows、Mac OS X 用)

寸法図

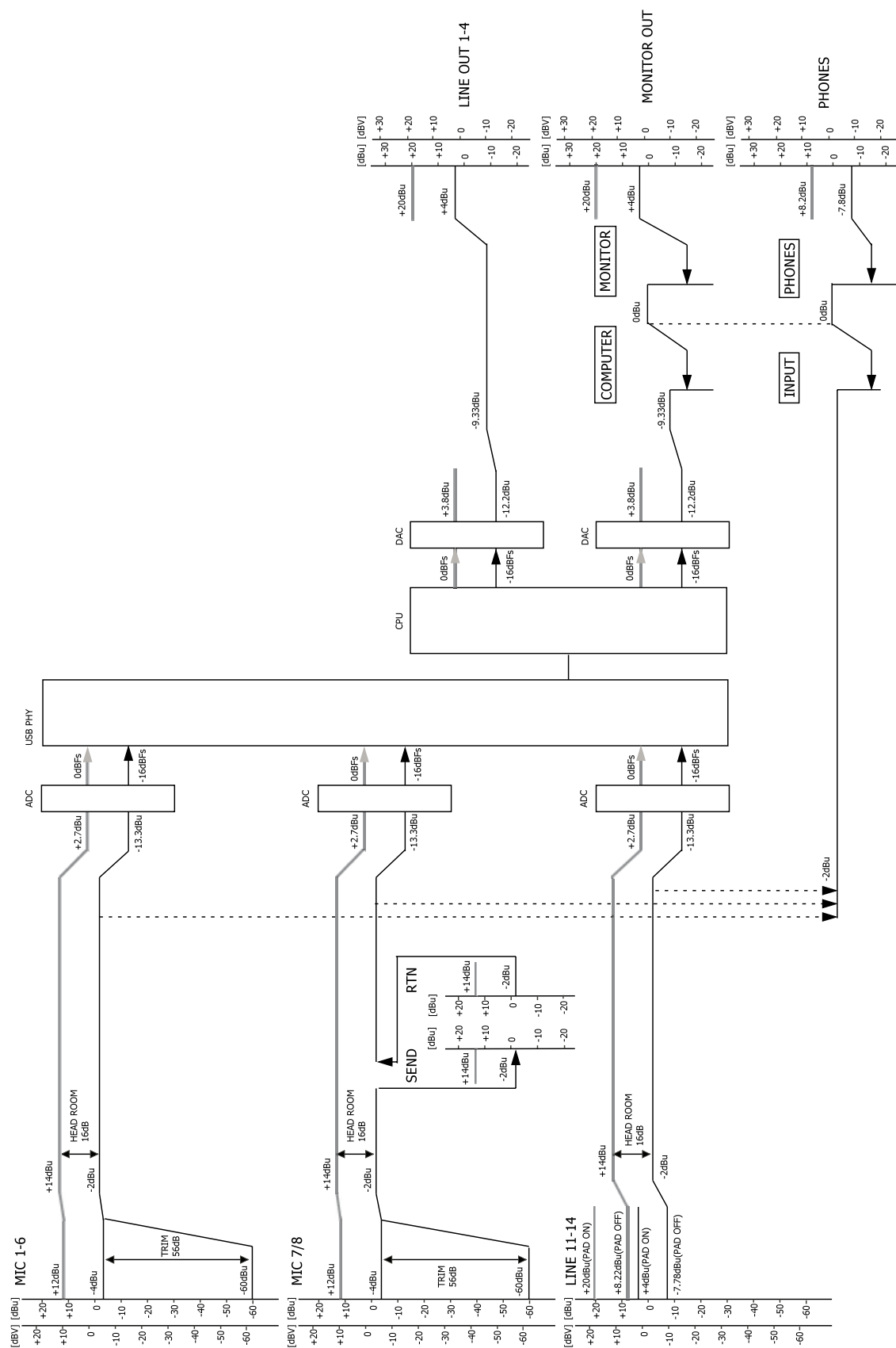


- * 仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- * 製品の改善により、取扱説明書のイラストなどが、一部製品と異なることがあります。あらかじめご了承ください。

ブロックダイアグラム



レベルダイヤグラム



この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00 / 13:00～17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47



0120-152-854

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858



一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。

PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。

このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47
<http://www.tascam.jp/>